施工説明書

INAX

サーモスタット付 洗髪シャワー混合水栓

一般地用
SF-805T
SF-815T

寒冷地用
SF-805TN
SF-815TN

工事店様へのお願い
貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「取扱説明書の袋」に入れてお客さまにお渡しください。

施工の前に

安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
●いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客様に引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管いただくように依頼してください。

注意・・・ 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠注　意

湯水を逆に配管しないでください。 ※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをする恐れがあります。	禁止
給湯器の給湯温度設定は85℃以下でご使用ください。 ※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。 ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。	
【寒冷地用】水抜栓は水抜き以外の目的で開けないでください。 ※ケガをしたり、故障・損傷の恐れがあります。	
修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理したりしないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	分解禁止
フレキホースの差し直しやストレーナーの掃除をする際は、必ず湯側水側の両方の止水栓を閉じてから行ってください。 ※湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	必ず実行
目盛り通りの湯が出るよう、必ず温度調節を行ってください。 **使用条件によっては目盛り通りの湯が出ず、ヤケドをすることがあります。**	
凍結が予想される場合は、お客さまに引き渡す前に水を抜いておいてください。 寒冷地用の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。 ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	

本製品の仕様と使用条件

使用最高温度	80±5℃	使用可能水質	上水
使用環境温度	【一般地用】SF-805T、SF-815T　：　0～40℃		※(注1)
	【寒冷地用】SF-805TN、SF-815TN：-20～40℃		※(注1)
給水(給湯)接続	G1/2(PF1/2)		
圧力条件	0.05MPa(流動圧)～0.75MPa(静水圧)　給水圧力≧給湯圧力		
取付条件	水栓取付穴：φ34～φ38mm、カウンター厚：5～20mm		

※(注1)但し、内部の水を凍結させないでください。

ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力	A＋0.08MPa{0.8kgf/㎠}(流動圧)
最高圧力	0.75MPa{7.6kgf/㎠}(静水圧)

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。
測定条件は次の通りです。
・開閉ハンドルは全開。
・給水温度5℃、吐出温度42℃(ガス給湯器との組み合わせが最も悪い冬期を想定)
・給水圧力は、ガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
・ガス給湯器の設定温度は最高温です。

貯湯式温水器と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力	0.05MPa{0.5kgf/㎠}(流動圧)
最高圧力	0.75MPa{7.6kgf/㎠}(静水圧)

・給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。温度調節が容易になり使いやすくなります。

その他の条件

●給水圧力が0.75MPa{7.6kgf/㎠}を超える場合は、市販の減圧弁で適正圧力(0.20～0.39MPa{2.0～4.0kgf/㎠}程度)に減圧してください。
●給湯に蒸気は使用できません。
●給湯温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。
ただし、約50℃以上の湯水は吐出しない構造となっています。

●不意の出湯によるヤケド防止のため、給湯器の設定温度は60 以下をおすすめします。

施工前のご注意

取付に必要な工具

●取付にはプラスドライバー、スパナ(対辺23)、プライヤー、専用工具「KG-9(対辺38)」が必要です。

止水栓を設けてください

●流量調節のため、止水栓(別売品)を取り付けてください。

使い勝手や性能発揮のために流量調節をしてください。とくに水圧が高い場合など、流量調節がされていないと漏水・破損の恐れがあります。

その他の注意点

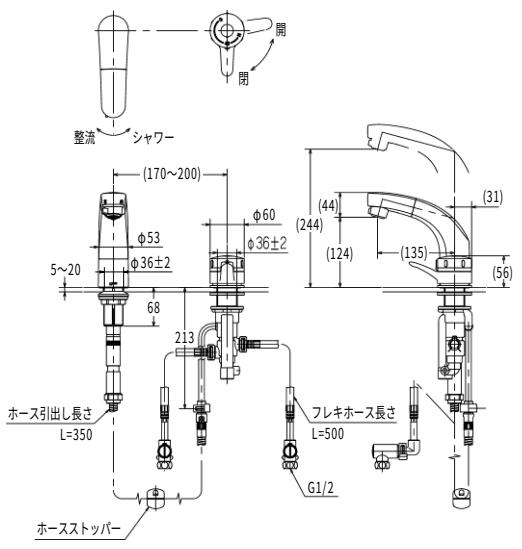
●給水は、上水道に接続してください。
※温泉水などの異物を多く含む水には、使用できません。
●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確認してください。
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
●給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
●商品の表面には、直接工具を掛けないでください。
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等を当てて保護してください。
●開梱・取付けの際には、商品の表面に傷をつけないように十分注意してください。

●必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

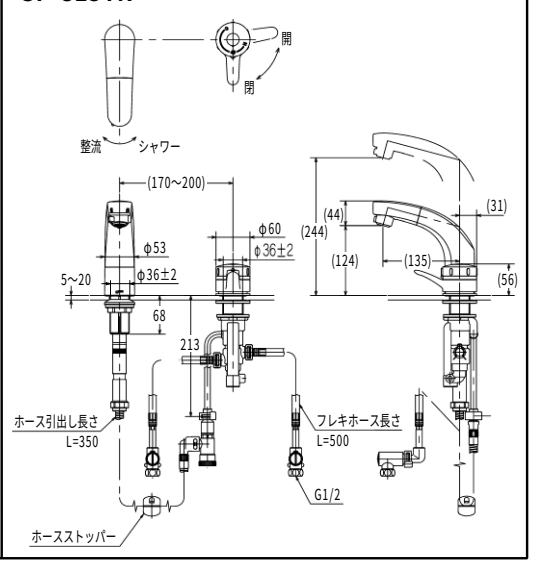
●取付カウンターが厚い場合や、大理石などの特殊な材料を使っている場合は取り付けできない場合があります。また穴あけなどの加工は十分注意して行ってください。

施工完了図

一般地用
SF-805T
SF-815T

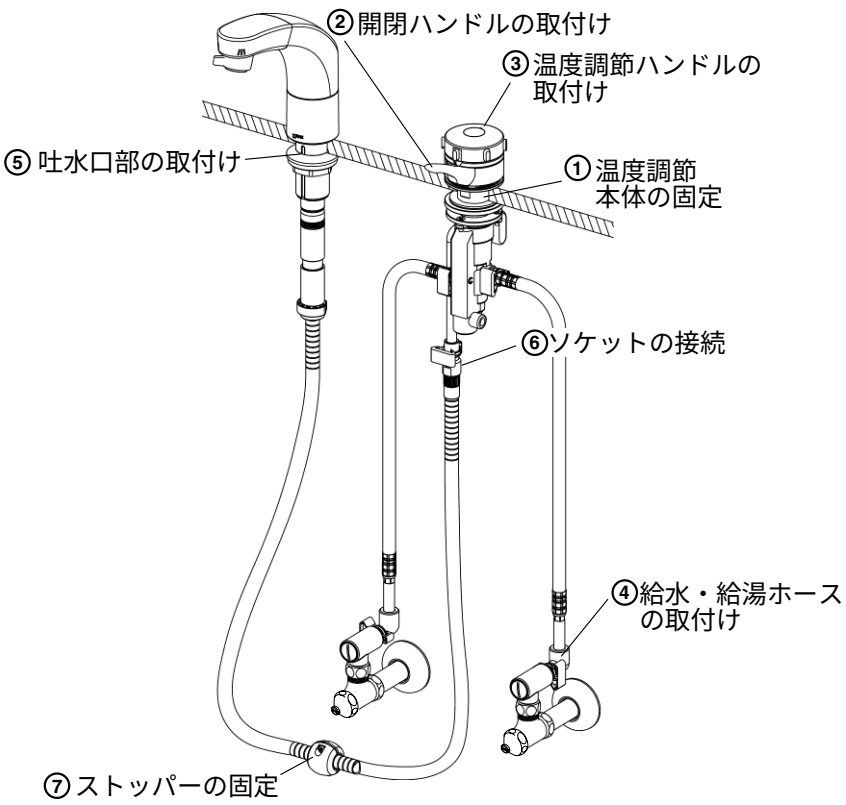


寒冷地用
SF-805TN
SF-815TN



※カウンター穴あけ寸法は、Φ36±2mmです。
カウンター厚は、5～20mmです。

施工手順



株式会社INAX

●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センター　商品相談窓口
ナビダイヤル TEL 0570-017173

受付時間　平日　9:00～19:00
土日・祝日10:00～18:00
(年末年始、夏期休暇は除く)

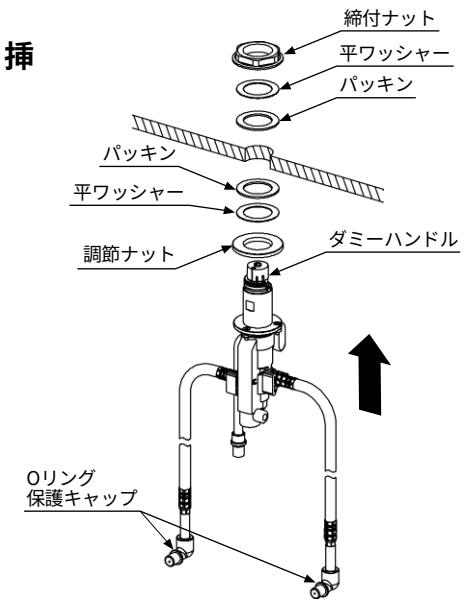
※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などご利用できません。
TEL 0562-31-0793 をご利用ください。

施工方法

① 温度調節本体の固定

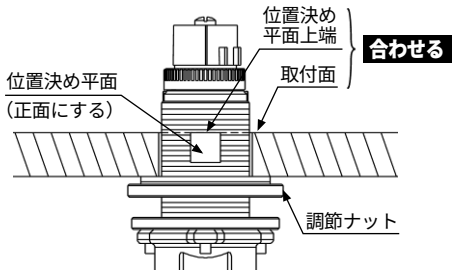
1. 温度調節本体を、取付穴の下から挿入する。

注意
- ●Oリング保護キャップは、逆止弁ソケットと接続するまで外さないでください。
  ※取り外すと、Oリングが傷ついてしまい、漏水の原因となります。
- ●ダミーハンドルは、温度調節ハンドルを取り付けるまで外したり、回したりしないでください。
  ※ダミーハンドルを外したり回したりすると、温度設定が合わなくなります。



2. 位置決め平面を正面にし、調節ナットで調節しながら位置決め平面の上端と取付面を合わせる。

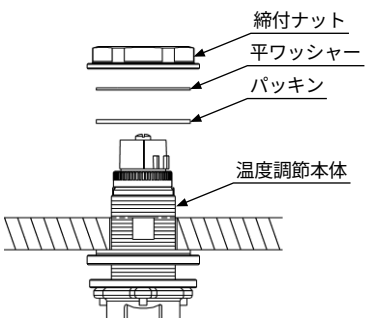
注意
位置決め平面上端と取付面とを合わせてください。
※合わさないと、開閉ハンドルが操作できない場合があります。



3. 温度調節本体を、固定する。

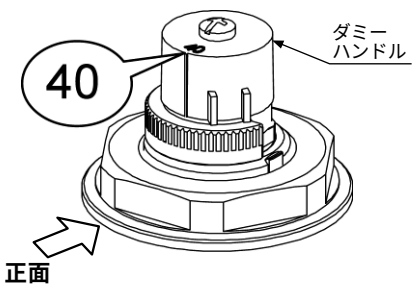
注意
締付ナットは、本体のガタつきのないようにしっかりと締め付けてください。
※ガタつきがあると、漏水の原因となります。

ポイント
締め付けるときに、本体がとも回りして、正面がずれないようにする。

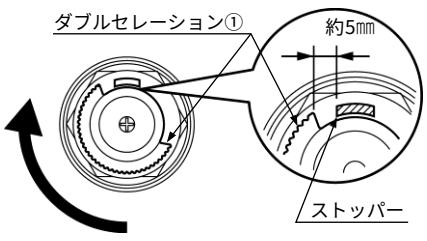


② 開閉ハンドルの取付け

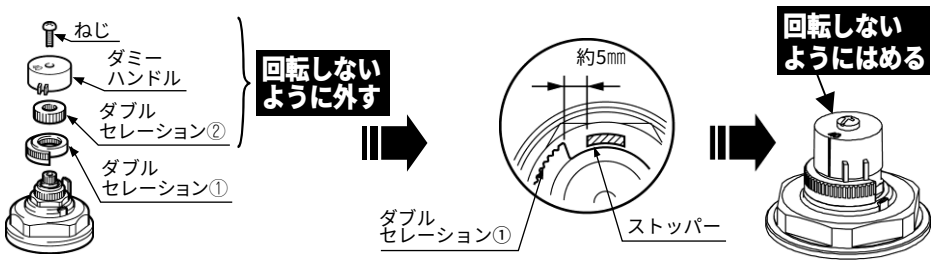
1. ダミーハンドルの「40」の表示を、正面に向ける。



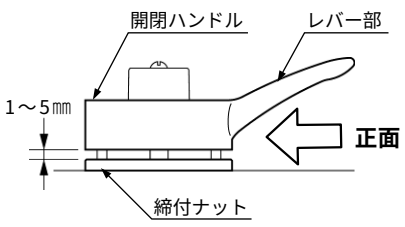
2. ダブルセレーション①を止まる位置まで時計回りに回転させ、ストッパーとダブルセレーション①のすき間が約5mmであることを確認する。



3. 約5mmのすき間でなければ、ダミーハンドルを回転させないように外し、ダブルセレーション①のすき間を約5mmあけて、はめ直す。



4. 開閉ハンドルを、レバー部が正面を向くように取り付ける。



注意
開閉ハンドルと締付ナットのすき間が1～5mmであることを確認してください。
※すき間がないと、開閉操作が重くなったり、破損の原因となります。「①温度調節本体の固定」を参照の上、やり直してください。

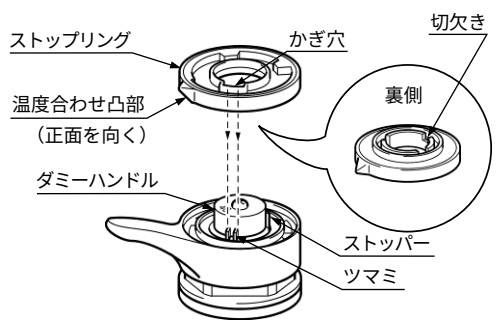
ポイント
- ●当説明書の最後にある実寸見本と照らし合わせる。
- ●確実に下まではめ込む。

③ 温度調節ハンドルの取付け

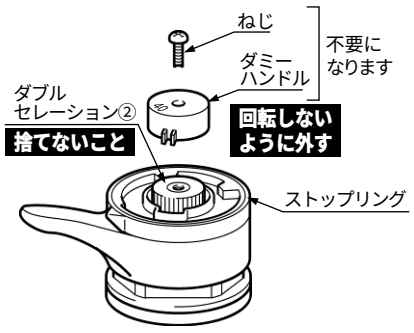
1. ストップリングを、かぎ穴とツマミが合うように取り付ける。

注意
ストップリングの切欠きを下にしてください。
※逆向きに取り付けると、温度設定が合わなくなります。

確認
取付後、ストップリングが回らないこと。

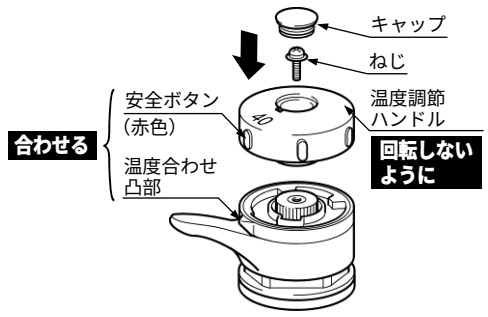


2. ダミーハンドルを、回転しないように取り外す。



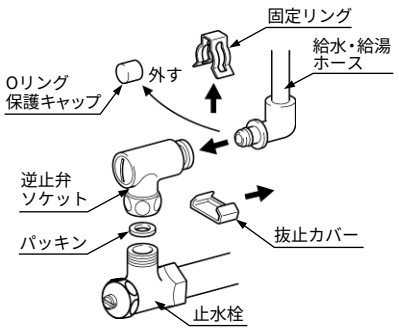
3. 温度調節ハンドルの安全ボタンと温度合わせ凸部が合うように取り付ける。

注意
温度調節ハンドルは、完全に取り付けるまで回さないでください。
※位置がずれると、温度設定が合わなくなります。

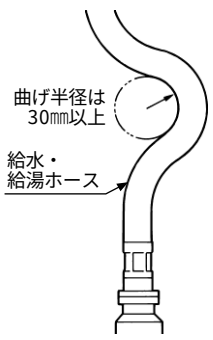


④ 給水・給湯ホースの取付け

1. 逆止弁ソケットを止水栓に固定し、給水・給湯ホースを差し込む。



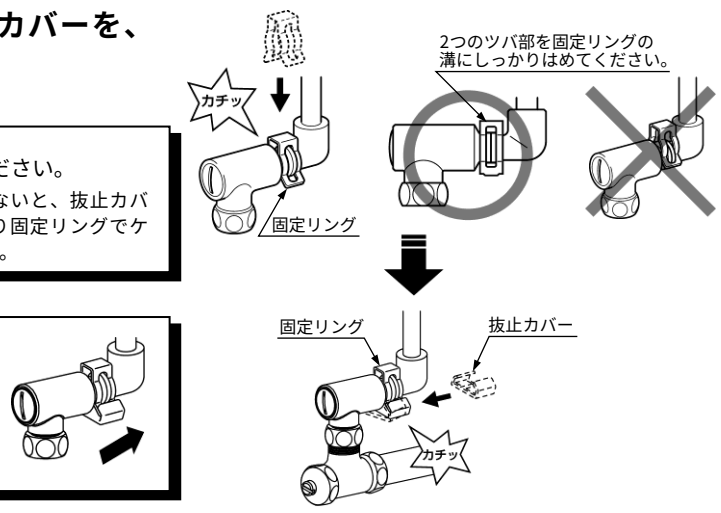
注意
- ●逆止弁ソケットの中にパッキンが入っていることを確認してください。
- ●Oリングを傷つけたり、ゴミかみしないようにしてください。
- ●給水・給湯ホースを差し込むときは、無理に曲げないようにしてください。
  ※注意しないと、漏水の原因になります。



2. 固定リング、抜止カバーを、確実にはめ込む。

注意
確実に、はめ込んでください。
※しっかりはめ込んでいないと、抜止カバーが外れて、漏水したり固定リングでケガをする恐れがあります。

確認
確実に、はめ込んでいること。
※給水・給湯ホースを矢印の方向に引っ張り、確認する。

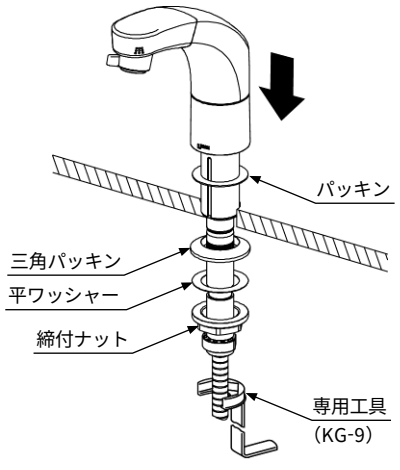


⑤ 吐水口部の取付け

吐水口部を、取付穴の上から挿入し、固定する。

ポイント
別売の専用工具（KG-9）を使用する。

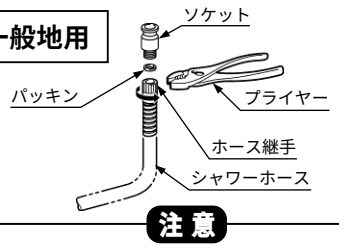
注意
締付ナットは、本体のガタつきのないようにしっかりと締め付けてください。
※ガタつきがあると、漏水の原因となります。



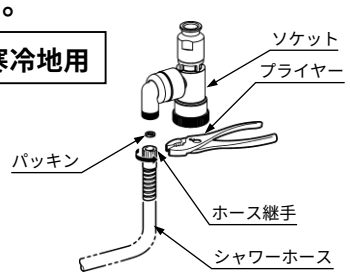
6 ソケットの接続

1. ソケットをシャワーホースと接続する。

一般地用



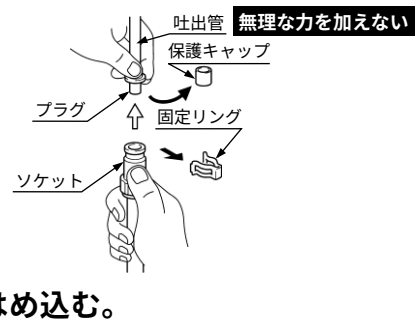
寒冷地用



注意
ホース継手内にパッキンが入っていることを確認してください。
※入っていないと、漏水の原因となります。

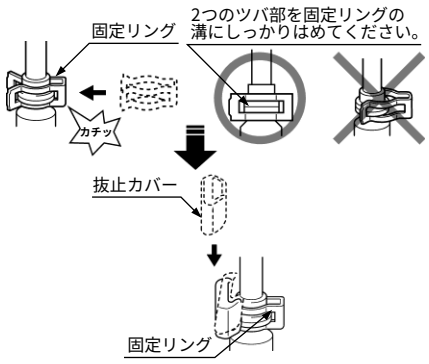
ポイント
プライヤー等でしっかりと固定する。

2. 固定リングをソケットから外し、プラグを挿入する。



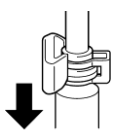
注意
Oリングがソケット内にあります。傷つけたりゴミかみしないようにしてください。
※注意しないと、漏水の原因となります。

3. 固定リング、抜止カバーを、確実にはめ込む。



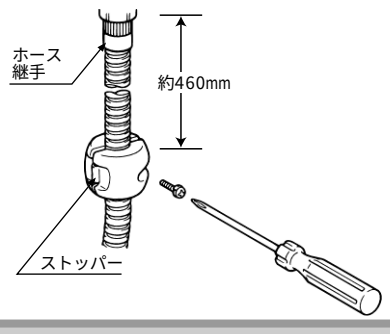
注意
確実に、はめ込んでください。
※しっかりはめ込んでいないと、抜止カバーが外れて、漏水したり固定リングでケガをする恐れがあります。

確認
確実に、はめ込んでいること。
※ソケットを矢印の方向に引っ張っても外れないこと。



7 ストッパーの固定

シャワーホースの赤いテープ位置に、ストッパーを固定する。



施工状態を確認する
ハンドシャワーをいっぱいまで引き出したときに、止水栓などが引っかかる場合は、ストッパーの位置を調節してください。
引出長さの目安は、300～350mmです。

8 水受タンクの設置

使用中に、ホースを伝わって水が浸入することがありますので、必ず水受タンクを設けてください。
※洗面化粧台に水受タンクが付属されていない場合は、別途用意してください。

施工後の調節

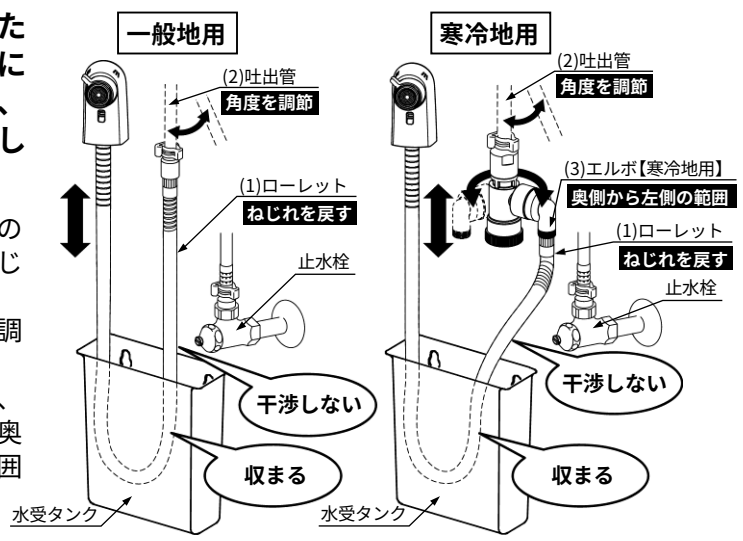
1 ハンドシャワーの引出確認・調節

ハンドシャワーを出し入れした際、止水栓に干渉したり、水受タンクに収まらないと、製品の機能を十分に発揮できない恐れがあります。以下の要領で、確認・調節してください。

1. ハンドシャワーを数回出し入れし、次の2点を確認する。
・シャワーホースが止水栓に干渉していないですか？
・シャワーホースが水受タンクに収まりますか？

2. 止水栓に干渉したり、水受タンクに収まらない場合は、次のように調節してください。

(1)シャワーホースのローレットのねじれを戻す。
(2)吐出管の角度を調節する。
(3)寒冷地用の場合は、エルボの向きを奥側から左側の範囲にする。



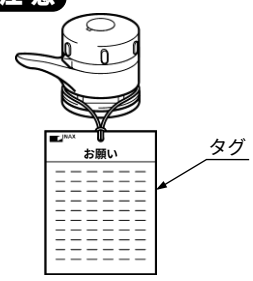
2 給湯器の温度設定

給湯器の給湯温度を設定してください。

ポイント
給湯温度は使用する最高温度よりも10℃高く設定する。

注意
給湯温度が変わると温度調節ハンドルの設定がずれて、表示通りの温度が出なくなります。

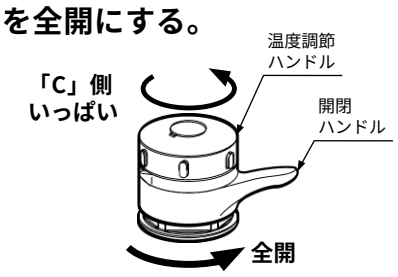
注意
給湯温度の設定を確認できない場合は、同梱のタグをハンドルにつけてください。



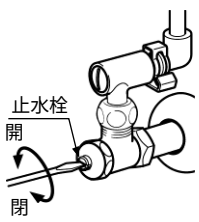
3 流量の設定

不用意に全開にした場合の水の飛散を防止するため、湯水の止水栓を調節してください。

1. 温調ハンドルを「C」側いっぱいに回して、開閉ハンドルを全開にする。

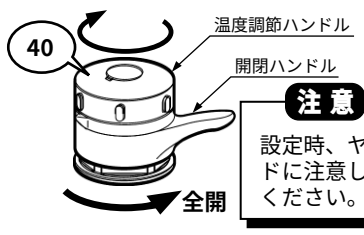


2. 水側の止水栓を回して、水の流量を8L/分程度になるように調節する。



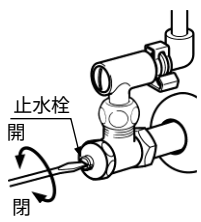
ポイント
調節の目安は、市販の洗面器(容量3L)をいっぱいにするのに約20秒強。

3. 温調ハンドルを「40」に合わせて、開閉ハンドルを全開にする。



注意
設定時、ヤケドに注意してください。

4. 湯側の止水栓を回して、湯の流量を8L/分程度になるように調節する。

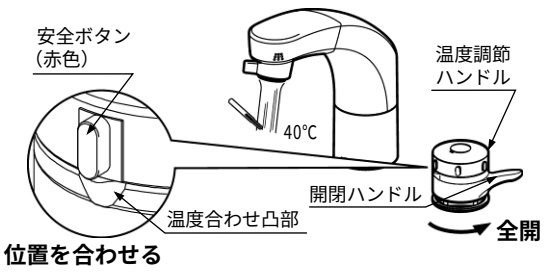


ポイント
調節の目安は、市販の洗面器(容量3L)をいっぱいにするのに約20秒強。

4 吐出温度の確認

温度調節ハンドルは工場で設定していますが、使用条件(給水・給湯圧力、給湯温度)が異なると、表示通りの温度が出ないことがあります。吐出温度が表示通りになっているか、以下の要領で確認してください。

1. 温度調節ハンドルの安全ボタンを温度合わせ凸部に合わせ、開閉ハンドルを全開にして吐出する。



2. 吐出温度が表示通りの場合
→「6止水位置の調節」に進む。

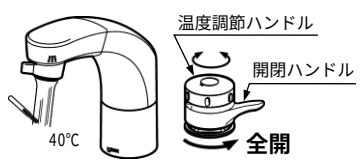
吐出温度がずれている場合
→「5温度調節ハンドルの設定」に進む。

5 温度調節ハンドルの設定

温度調節ハンドルの温度目盛と、吐出温度が合わない場合は、温度調節ハンドルの設定を行ってください。

1. 調節の前に、確認する。
(1)水側と湯側の止水栓が、十分開いていますか？
(2)水側と湯側のストレーナーが、詰まっていませんか？
(3)給湯温度は、使用する温度より10℃以上高いですか？

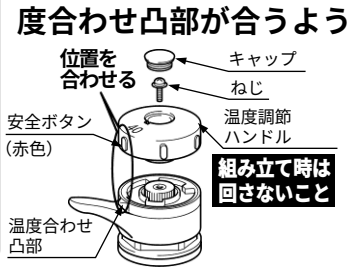
2. 温度目盛に関係なく、40℃になるように、温度調節ハンドルを回す。



3. 開閉ハンドルを閉め、温度調節ハンドルを回転しないように抜き取る。

注意
温度調節ハンドルが回転しないように抜き取ってください。
※回転すると、温度設定が合わなくなります。

4. 温度調節ハンドルを、安全ボタンと温度合わせ凸部が合うように取り付ける。



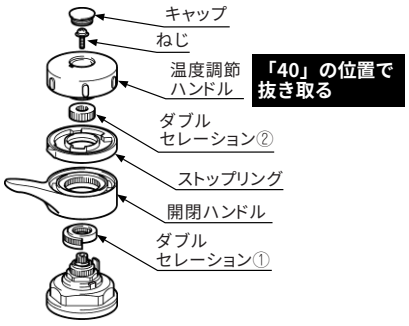
注意
温度調節ハンドルは、完全に取り付けるまで回さないでください。
※位置がずれると、温度設定が合わなくなります。

5. 流量の確認をする。
詳細は、「3流量の設定」の項を、参照してください。

6 止水位置の調節

止水しない場合は、止水位置の調節を行ってください。

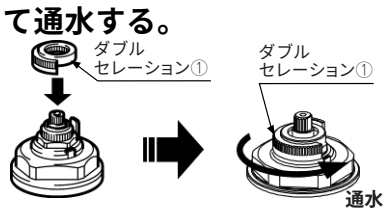
1. **温度調節ハンドルを、「40」の位置で抜き取り、その他の部品も外す。**



注意

温度調節ハンドルは、「40」の位置で抜き取ってください。
※位置がずれると、設定温度が合わなくなります。

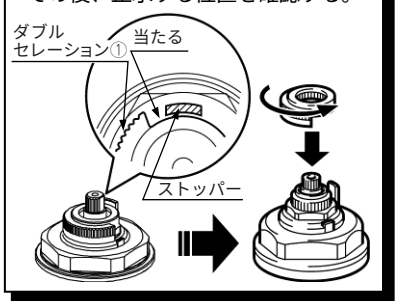
2. **ダブルセレーション①をはめ直し、反時計回りに回して通水する。**



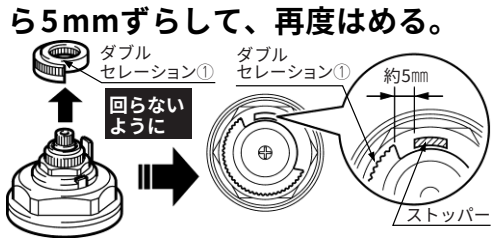
3. **確実に止水する位置を確かめる。**

ポイント

ダブルセレーション①がストッパーに当たっても止水しない場合は、もう一度外し、反時計回りに回してはめ直す。
その後、止水する位置を確認する。



4. **ダブルセレーション①を、止水する位置で抜き取り、ストッパーから5mmずらして、再度はめる。**



5. **開閉ハンドルを、レバー部が正面を向くように取り付ける。**

詳細は、「②開閉ハンドルの取付け」「*4.* 開閉ハンドルをレバー部が正面を向くように取り付ける。」の項を、参照してください。

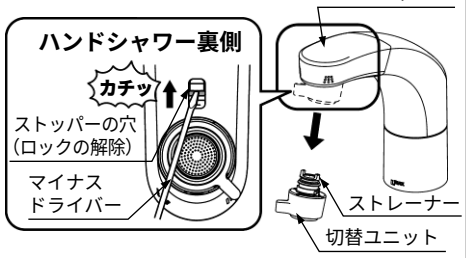
6. **ストップリング、温度調節ハンドルを取り付ける。**

詳細は、「③温度調節ハンドルの取付け」の項を、参照してください。

7 切替ユニットの掃除

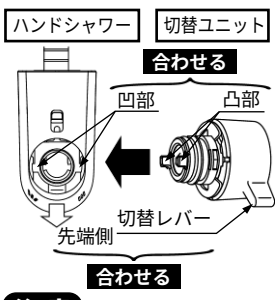
通水後は、必ず掃除をしてください。
※掃除しないとゴミが詰まり、吐出状態が乱れたり、吐出量が少なくなります。

1. **ハンドシャワーの裏側にあるストッパーのロックを外し、切替ユニットを外す。**



2. **ストレーナーを掃除する。**

3. **切替ユニットの向きに注意しながら取り付ける。**



注意

●組付後は、必ずロックしてください。
※ロックしないと、吐出時に切替ユニットが外れてしまいます。

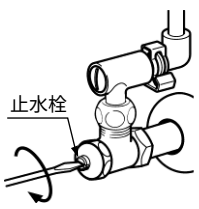
確認

●切替ユニットが外れないこと。

8 逆止弁ソケットの掃除

通水後は、必ず掃除をしてください。
※掃除しないとゴミが詰まり、機能が低下します。

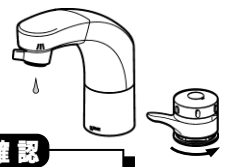
1. **給水・給湯の止水栓を閉じる。**



ポイント

止水栓を何度回したかを、覚えておく。

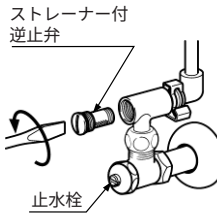
2. **開閉ハンドルを全開にし、水栓内の圧力を抜く。**



確認

吐水口から水が出ないこと。

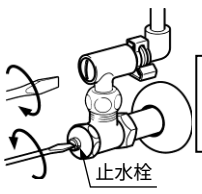
3. **ストレーナー付逆止弁を外し、掃除をする。**



ポイント

汚れが落ちにくいときは、ブラシ等を使用する。

4. **逆の手順で組み付けて、止水栓を開ける。**



ポイント

止水栓は、元の位置に戻す。

引渡し前の確認

お客さまに引き渡す前に、以下のような現象がないか確認してください。

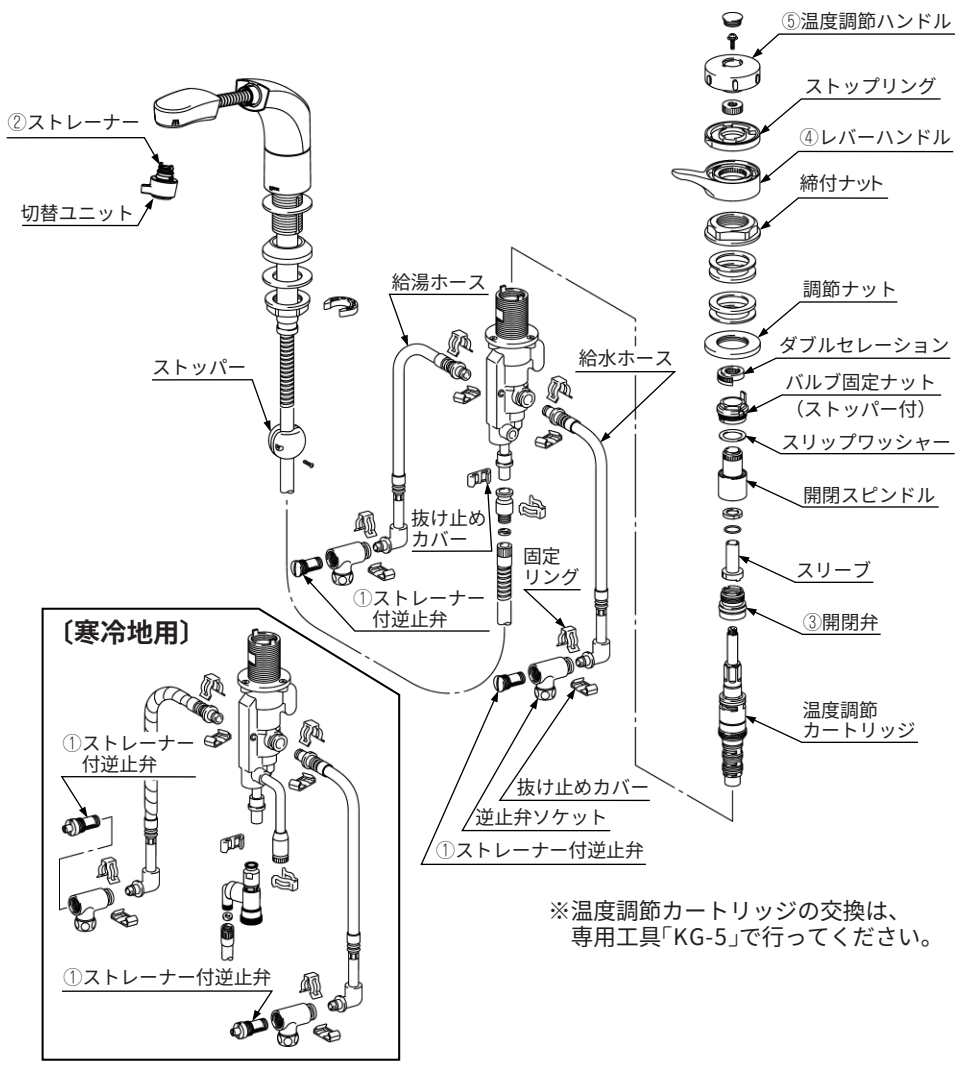
※点検箇所は、以下の図を参照してください。

現　象	点　検　内　容	点検箇所	処　置
流量が少ない	圧力は十分か？		使用条件の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか？		抵抗となる障害物を取り除く。
	止水栓は十分開いているか？	止水栓	止水栓を十分開く
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか？	①②	ゴミ等を水で洗い流す。
水が止まらない	開閉弁にキズ、ゴミかみはないか？	③	ゴミ等を水で洗い流す。
	止水位置の調節はよいか？	④	止水位置の調節の項参照。
湯水の逆流がある	ストレーナー付逆止弁は正常か？（ゴミ、砂かみは？）（シートにキズは？）	①	ゴミ等を水で洗い流す。キズがあれば新品と交換する。
希望の温度が得られない	圧力は十分か？		使用条件の項参照。
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか？	①②	ゴミ等を水で洗い流す。
	止水栓は十分開いているか？	止水栓	止水栓を十分開く。
	温度調節ハンドルの設定はよいか？	⑤	温度調節ハンドルの設定の項参照。
	流量調節はよいか？		流量調節の項参照。
	給湯器の温度設定はよいか？		給湯器の温度設定の項参照。

ポイント

故障ではありません

・水を止めた後に少しの間水が垂れますが、切替ユニット内にたまった少量の水が排出されるためで、故障ではありません。
・この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しています。レバーハンドルを急に下げると抵抗感が発生し重く感じることがありますが、故障ではありません。



※温度調節カートリッジの交換は、専用工具「KG-5」で行ってください。

PMS-1563 (07040)

●実寸見本（開閉ハンドルの取付）

この範囲で調整してください。（1～5㎜）